

第2回 「合志市人口ビジョン及び総合戦略策定業務」有識者会議 議事録①

日時	2015/7/22
場所	合志市役所 庁議室
時間	14:00 ~ 16:00
議事録執筆担当者	安影 美奈子

参加者：

(構成員)	松村 友記 上田 耕太郎 橋本 崇雄 三城 大介 松村 和信 土佐 晋也 迫田 裕治
	池永 けい子 緒方 寿雄 坂本 夏実
(事務局)	三小田 昌弘 坂本 政誠 濱田 善也 工藤 一伸 杉村 輝彦 鷹巣 孝之 西村 緑
(オブザーバー)	県北広域本部 岩田 知恵 様
(傍聴者)	2名
(弊社)	宮本 峻介 岡村 洸斗 安影 美奈子

議事内容

①進捗状況(RCより)

②今後の策定スケジュールについて(市より)

※別紙「合志市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール」を基に

③合志市人口ビジョンについて(RCより)

※別紙「合志市人口ビジョン(仮)」を基に

- └ P7「性別・年齢階級別 転入・転出の時系列推移(男女別)」に関して
15歳～24歳の【女性】が【男性】より緩やかな減少傾向にある点はリサーチを進める。
- └ 出生・死亡数、転入・転出数総人口推移2006年度の訂正、資料配布。

④総合戦略について(市より)

※別紙「まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」を基に

⑤意見交換

※人口ビジョン・総合戦略を踏まえて有識者それぞれの専門的観点からコメントを得られるよう、分野ごとに質問を行う形で進行。

【1.地域経済について】

(構成員1)

合志市の60～70代は生活が割と安定しており、ゆとりのある方が多い。合志市内には消費をする場所が少ないが、日常的な買い物以外にも余暇を過ごせるような場所等あれば、より消費が増えるのではないかと。

(構成員2)

生活必需品は地場のスーパーで購入し、その他の買い物は菊陽の光の森、熊本市内、福岡、佐賀のアウトレット等、合志市以外へ足を伸ばす人が多い。

(構成員3)

消費活動のポテンシャルはあるが、ハードがない。
→市街化調整区域の問題の解消が必要ではないかと。

【2.若年者の流出について】

(構成員4)

熊本市等、通学先へのアクセスが良ければ、合志の自宅から通学する学生も増えると考えられる。
合志市の若年者の流出を防ぎ、合志市にとどまってもらうには、インフラ整備が重要ではないかと。

【3.福祉対策について】

(構成員5)

高卒の雇用創出の必要性。
転入者が地域コミュニティへ溶け込むための支援の必要性。
合志市ボランティアセンターへの登録率は高く、特に40代50代女性が多い。中高年女性のマンパワーが活かせるのではないかと。
(熊本県は県外への流出率が低い県 全国第10位。地元への定着率は高いと考えられる。)



【本社】 〒860-0059 熊本県熊本市西区野中1-6-10 TEL : 096-273-6029

FAX : 096-342-6958

【ブランディングオフィス】 〒862-0975 熊本県熊本市新屋敷3-1-8-203

MAIL : info@r-connect.net

第2回 「合志市人口ビジョン及び総合戦略策定業務」有識者会議 議事録②

日時	2015/7/22
場所	合志市役所 庁議室
時間	14:00 ~ 16:00
議事録執筆担当者	安影 美奈子

参加者：

(構成員)	松村 友記 上田 耕太郎 橋本 崇雄 三城 大介 松村 和信 土佐 晋也 迫田 裕治
	池永 けい子 緒方 寿雄 坂本 夏実
(事務局)	三小田 昌弘 坂本 政誠 濱田 善也 工藤 一伸 杉村 輝彦 鷹巣 孝之 西村 緑
(オブザーバー)	県北広域本部 岩田 知恵 様
(傍聴者)	2名
(弊社)	宮本 峻介 岡村 洸斗 安影 美奈子

議事内容

⑤意見交換(続き)

【4.教育面について】

(構成員6)

合志市内のコンビニ等との連携も含め、地域で子どもを守ることが必要。

子育て世代の転入を増やすためには、中古物件のリノベーション、空き家活用、バス路線の充実などを図り住宅や交通の便について、不足感や不便さを感じさせないことが必要ではないか。

【5.地域住民の生活について】

(構成員7)

住宅地によっては、同じタイミングで開発されているので

住民の高齢化も一気に進み、スラム化することが考えられる。

開発とスラム化を繰り返すのではなく、年齢構成と居住地(空き家)に応じた施策が必要ではないか。

【6.観光事業について】

(構成員1)

台湾からの観光客をターゲットにした施策も検討している。

海外観光客の要望として、Made in Japanの電化製品を購入したいということがあるが適当な店舗が少ない。

社会的インフラを増やすことにお金を使うのではなく、コンパクトシティを目指すべき。

広いエリアに、バス路線を隈なく走らせることは厳しい。

通学にせよ、ボランティアにせよ、コンパクトシティの中で完結するのが理想的ではないか。

【7.雇用について】

(構成員8)

再雇用制度の充実の必要性。

職場の労働環境の整備の必要性。(女性が職場復帰しにくい現状がある)

【8.子育てと働き方について】

(構成員9)

労働力が減少していく中で、女性の労働力を高めることが重要。子育ての終わった世代と企業とのマッチング、母子家庭の自立支援(子どもor仕事ではなく、子ども&仕事)等が必要。



【本社】 〒860-0059 熊本県熊本市西区野中1-6-10 TEL : 096-273-6029
【ブランディングオフィス】 〒862-0975 熊本県熊本市新屋敷3-1-8-203

FAX : 096-342-6958
MAIL : info@r-connect.net

第2回 「合志市人口ビジョン及び総合戦略策定業務」有識者会議 議事録③

日時	2015/7/22
場所	合志市役所 庁議室
時間	14:00 ~ 16:00
議事録執筆担当者	安影 美奈子

参加者：

(構成員)	松村 友記 上田 耕太郎 橋本 崇雄 三城 大介 松村 和信 土佐 晋也 迫田 裕治
	池永 けい子 緒方 寿雄 坂本 夏実
(事務局)	三小田 昌弘 坂本 政誠 濱田 善也 工藤 一伸 杉村 輝彦 鷹巣 孝之 西村 緑
(オブザーバー)	県北広域本部 岩田 知恵 様
(傍聴者)	2名
(弊社)	宮本 峻介 岡村 洸斗 安影 美奈子

議事内容

⑤意見交換(続き)

【その他】

(合志市1)

農業をどうビジネスにするか。

外部からチェーン店等を誘致しても税収にはつながりにくい。

なるだけ人を外に出さず、外から人を受け入れる体制づくりが重要。

合志市にはポリテクセンター、県技短、高専等、教育・就労の場はある。

まちづくりには女性の力が必要。

└南⇄北、男性⇄女性など、対極するもの同士のこまめな分析が必要。

(合志市2)

女性の働き方(フルタイム・時短・超時短・在宅)について総合的にデザイン・サポートする体制づくり、人材育成が必要。

合志市は観光資源が乏しいため、外国人旅行客を受け入れるには、菊池・山鹿・阿蘇などと連携する必要がある。

(合志市3)

戦略を作るためには、合志市の現状を踏まえて疑問点などの意見を戦わせた方がよいのでは。

└会議の進め方を見直す必要性あり？

つりがね型の人口ビジョン(2040年の理想形としてR-Cが提案しているもの)を目指していくのか。

(合志市4)

本来ならば、人口ビジョンを基に総合戦略を作るが、時間の関係でRCと事務局で並行して作成している。

(構成員5)

すべての人へのキャッチなのか、ある層に対するキャッチなのか。

行政ともう少し論議できれば。

⑥事務連絡

次回以降 有識者会議予定

第3回有識者会議 8/21(金)14:00~16:00

第4回有識者会議 9/11(金)14:00~16:00



【本社】〒860-0059 熊本県熊本市西区野中1-6-10 TEL : 096-273-6029

【ブランディングオフィス】〒862-0975 熊本県熊本市新屋敷3-1-8-203

FAX : 096-342-6958

MAIL : info@r-connect.net